



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成29年11月1日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.8

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

読書の秋」に向けて

超大型台風と言われた台風21号は、10月22日から23日にかけて、加佐地域にも甚大な被害を残しました。罹災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い罹災からの復興をお祈ります。

本校においては、23日が振替休日となっていたため授業のカット等はありませんでしたが、翌24日には授業開始時刻を遅らせました。また、子どもたちの中には大きな被害を被ったご家庭もあり、子どもたちにとって、自然が猛威を振るった時の力のすごさや一級河川由良川の怖さを改めて実感することとなりました。



【海ようになった運動場前のバス停付近】

10月27日から11月9日までは「読書週間」です。読書をするには最適な季節となりました。

学校では、年間通して、毎日10分間「読書タイム」を設定したり、低学年の教室では月2回主任児童委員の方が読み聞かせをしたりしています。家庭において少しの時間でも本を手にして読書の習慣が付くよう、子どもたちに常に家庭読書の働きかけもしています。また、この時期の取組としては、図書委員会の子供たちが全校の子供たちの前で読み聞かせを計画しています。こうした取組の中で子どもたちの読書の機会が増えたり、読書の楽しさを知ったりすることを願っています。

子どもたちは、小学校に入ると絵本から物語へ、そして、高学年になるほど様々なジャンルに関心が広がっていきます。豊かな読書体験は、子どもの想像力をかき立てて世界を広げたり、人間や自然の素晴らしさを教えてくれたりします。また、「ことば」に興味を持ち、「ことば」の力を伸ばし、読解力や思考力、表現力を高めるためにも読書はとても大切です。読書好きの子どもにしたいと思います。

P T A文化部の方々には親子読書の取組を計画していただきました。P T Aの皆様には、お忙しいとは思いますが、この秋の夜長、家事をする手を少し止めて子どもとともに本の世界を楽しんでいただければありがたく思います。

ちなみに、私は高学年の時、星新一の「ボッコちゃん」をよく読んでいたことを思い出します。一話一話が短くて、読みやすく、展開が面白くて、大好きでした。この作者の本を他にもいろいろと読むようになって、宇宙人や悪魔に興味を持ち、ブラックユーモアの楽しさも知りました。おススメです。



小中一貫で子どもを育てる・・・⑦

小中一貫教育発表会

加佐中学校等と連携をしながら授業を進め、当日は、生き生きとした表情で一生懸命に学習する子どもたちの姿を見ることができました。

今後も小中一貫教育は続きます。さらに交流を深めることにより、子どもたちが中学校への進学を不安に思うことなく自尊感情が高まり、学力が伸びるよう努力していきます。一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

校長 羽賀 玲子 教職員一同

10月17日(火)には、小中一貫教育モデル校としての成果を発表しました。どの学年も、岡田保育園や由良川小学校や



【小中一貫教育研究発表会 6年生「理科」】

